

## 2011 年体外循環技術認定士受験・更新条件の変更について

4 学会合同体外循環技術認定士  
合同試験委員会

### ・JaSECT 教育セミナー一年二回開催について

2015 年より心臓血管外科専門医認定機構が認定する心臓血管外科修練施設として「施設に体外循環技術認定士が 1 名以上勤務していること」の条件が加わることが内定しました。このため、2015 年までの間は体外循環技術認定士の受験者の大幅な増加が予想されます。そこでしばらくの間、毎年春に開催している JaSECT 教育セミナーに加え、秋頃に別会場で 2 回目の JaSECT 教育セミナーを開催することになりました。内容は春の 1 回目のセミナーと同じ年次のカリキュラムで同じ講師です。ただし、2 回目は事前申し込みの定員制で、定員に達し次第締め切ります。申し込みは 1 回目のセミナーと同時期に受け付けます。

### ・体外循環技術認定士受験条件の緩和について

体外循環技術認定士受験条件のひとつに人工臓器セミナーを 1 回受講したうえで、さらに 20 ポイントが必要でした。2011 年よりこれが緩和され人工臓器セミナーを 1 回受講したうえで、さらに 10 ポイント受講することが条件となります。JaSECT 教育セミナーの必要単位数は変わりません。なお、ポイントが認定されたセミナーを受講された場合、その際の参加証が証明書として申請時に必要になりますので、大切に保管してください。

### ・体外循環技術認定士更新条件の緩和について

体外循環技術認定士更新条件のひとつである経験症例数が 5 年間で 30 例必要ですが、2011 年より更新条件の経験は主操作者に加え指導者も認められることになりました。具体的には、更新の場合体外循環記録にある 2 番目の操作者も経験症例に認められます。今後、体外循環技術認定士の皆様はこれを踏まえて体外循環記録に氏名を記録してください。なお、更新時から 5 年以内であれば 2011 年以前の 2 番目の操作者の症例でも経験症例として認められます。

### ・JaSECT 人工心肺実技セミナー受講のお願い

2011 年より JaSECT カリキュラムの必修単位は座学 36 単位に加え、実技 1 単位が加わります。これから JaSECT カリキュラムの「受講修了証」発行を希望される会員は必ず JaSECT 人工心肺実技セミナー（実技セミナー）も受講して下さい。実技セミナーは毎年 JaSECT 教育セミナー、日本人工臓器学会教育セミナー、JaSECT 大会、各 JaSECT 地方会で開催しています。全て定員制で事前登録が必要です。来年の JaSECT セミナー等では混雑により申し込みができないことが予想されますので受講が必要な方は実技セミナーをお早めにお申し込みください。なお、実技セミナーを受講すると「実技セミナー受講証」が発行されますので、大切に保管してください。